

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6 年 6 月 25 日

岩手県知事 達増 拓也 殿

提出者

住所 岩手県花巻市石鳥谷町南寺林5-297

氏名 株式会社 佐 賀 建 設

代表取締役社長 佐 賀 忠 臣

電話番号 0198-26-3800

循環型地域社会の形成に関する条例第9条の2第2項の規定により、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 佐 賀 建 設
事業場の所在地	岩手県花巻市石鳥谷町南寺林5-297
事業の種類	建設業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	929.474 t	全処理委託量	929.474 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	894.980 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 全体)

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 306.785

自ら直接  
再生利用した量

② 0.000

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量

③ 0.000

自ら中間処理  
した量

④ 0.000

④のうち熱回収  
を行った量

⑤ 0.000

自ら中間処理した  
後の残さ量

⑥ 0.000

自ら中間処理によ  
り減量した量

⑦ 0.000

自ら中間処理した後  
再生利用した量

⑧ 0.000

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量

⑨ 0.000

直接及び自ら  
中間処理した後の  
処理委託量

⑩ 306.785

⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

⑪ 0.000

⑩のうち再生利用  
業者への処理委託量

⑫ 260.590

⑩のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑬ 0.000

⑩のうち熱回収認定  
業者以外の熱回収を  
行う業者への  
処理委託量

⑭ 0.000

項目	実績値
① 排出量	306.785
②+⑧ 自ら再生利用を行 った量	0.000
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.000
⑦ 自ら中間処理により減 量した量	0.000
③+⑨ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.000
⑩ 全処理委託量	306.785
⑪ 優良認定処理業者への 処理委託量	0.000
⑫ 再生利用業者への処理 委託量	260.590
⑬ 熱回収認定業者への処 理委託量	0.000
⑭ 熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0.000

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 紙くず )

不要物等発生量

有償物量

排出量

①

0.170

自ら直接  
再生利用した量

②

0.000

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量

③

0.000

自ら中間処理  
した量

④

0.000

④のうち熱回収  
を行った量

⑤

0.000

自ら中間処理した  
後の残さ量

⑥

0.000

自ら中間処理によ  
り減量した量

⑦

0.000

自ら中間処理した後  
再生利用した量

⑧

0.000

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量

⑨

0.000

直接及び自ら  
中間処理した後の  
処理委託量

⑩

0.170

⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

⑪

0.000

⑩のうち再生利用  
業者への処理委託量

⑫

0.000

⑩のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑬

0.000

⑩のうち熱回収認定  
業者以外の熱回収を  
行う業者への  
処理委託量

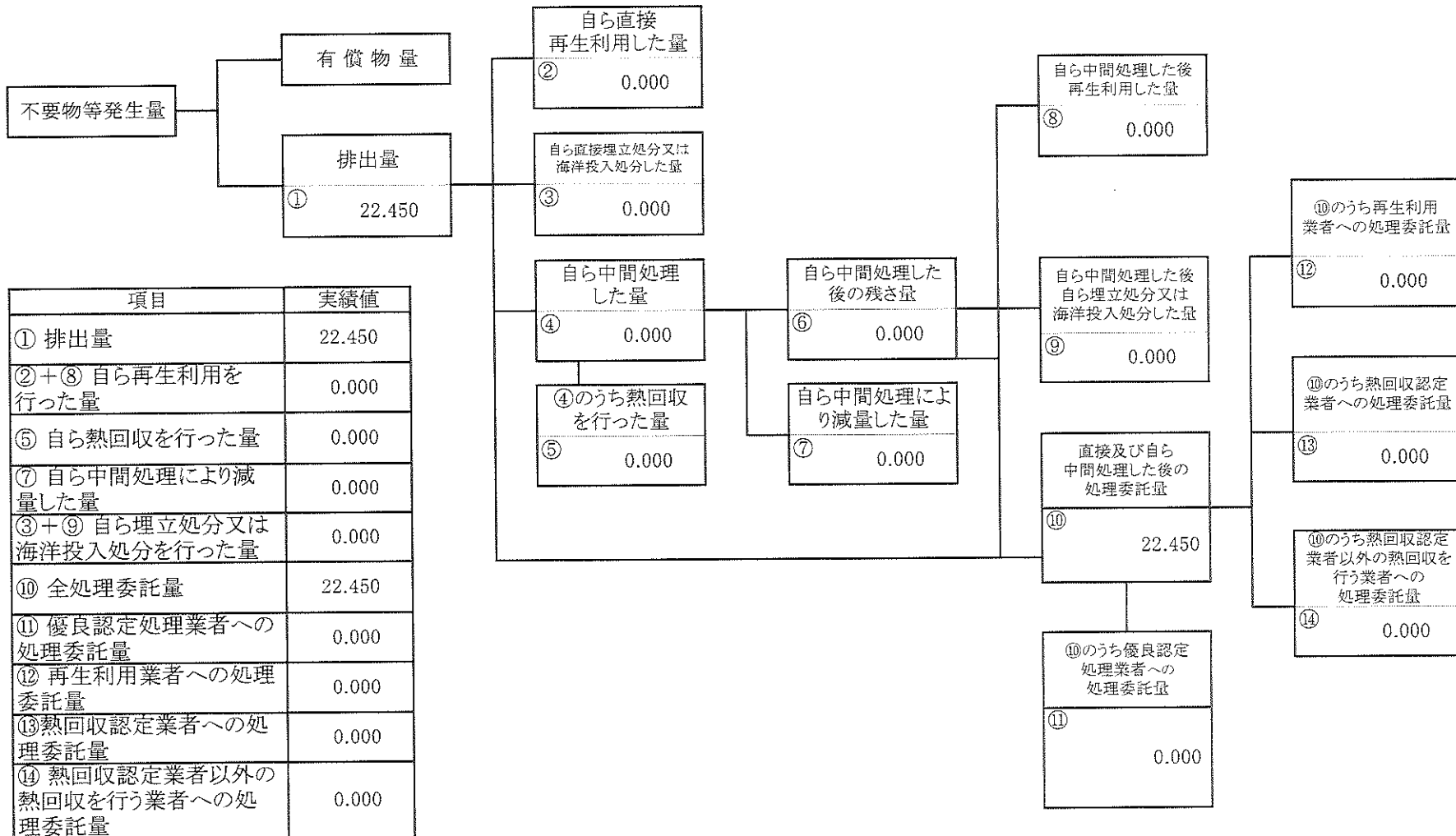
⑭

0.000

項目	実績値
① 排出量	0.170
②+⑧ 自ら再生利用を行 った量	0.000
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.000
⑦ 自ら中間処理により減 量した量	0.000
③+⑨ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.000
⑩ 全処理委託量	0.170
⑪ 優良認定処理業者への 処理委託量	0.000
⑫ 再生利用業者への処理 委託量	0.000
⑬ 熱回収認定業者への処 理委託量	0.000
⑭ 熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0.000

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類 )

不要物等発生量

有償物量

排出量

①

244.224

自ら直接  
再生利用した量

②

0.000

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量

③

0.000

自ら中間処理  
した量

④

0.000

④のうち熱回収  
を行った量

⑤

0.000

自ら中間処理した  
後の残さ量

⑥

0.000

自ら中間処理によ  
り減量した量

⑦

0.000

自ら中間処理した後  
再生利用した量

⑧

0.000

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量

⑨

0.000

直接及び自ら  
中間処理した後の  
処理委託量

⑩

244.224

⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

⑪

0.000

⑩のうち再生利用  
業者への処理委託量

⑫

237.840

⑩のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑬

0.000

⑩のうち熱回収認定  
業者以外の熱回収を  
行う業者への  
処理委託量

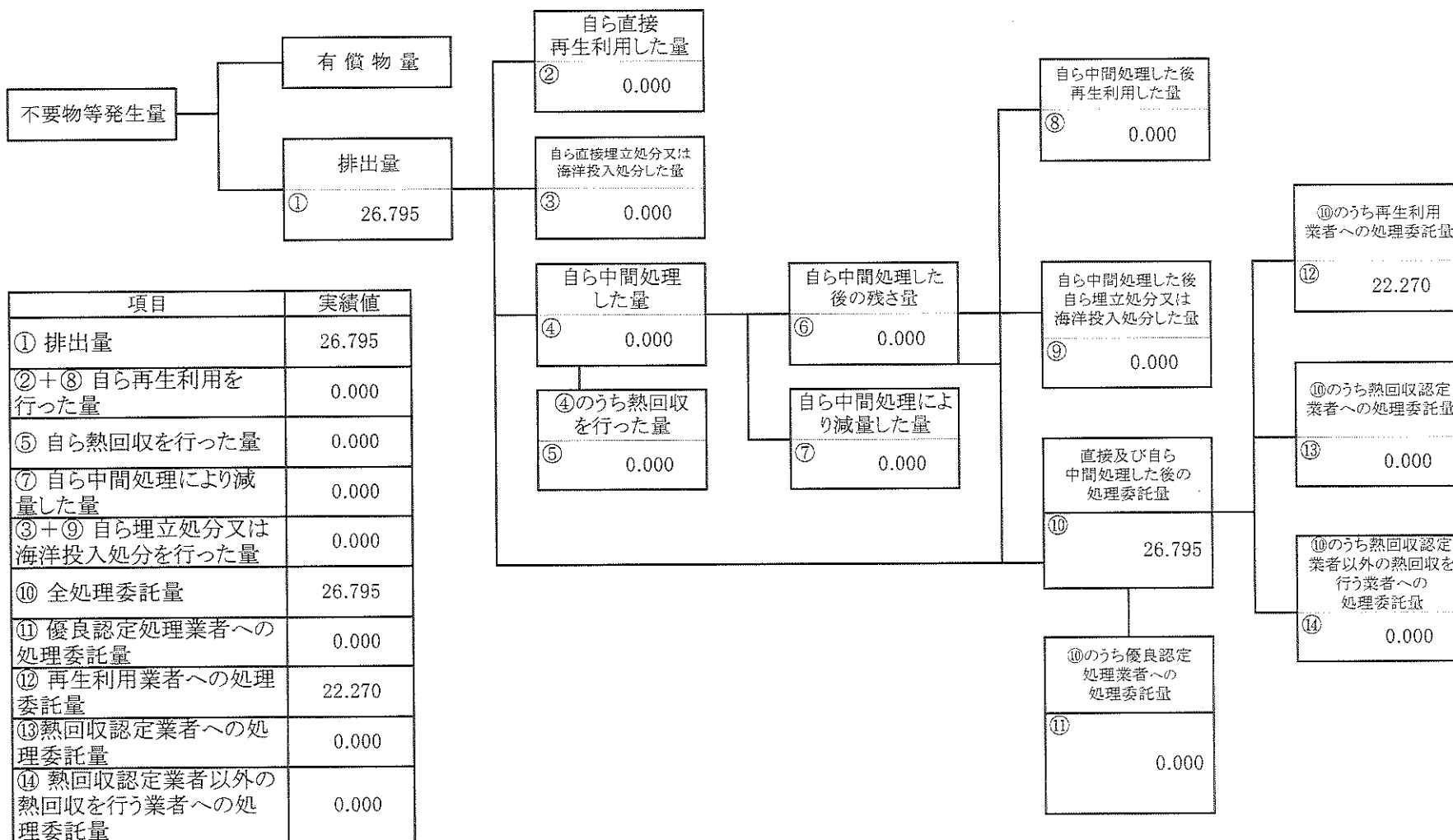
⑭

0.000

項目	実績値
① 排出量	244.224
②+⑧ 自ら再生利用を行なった量	0.000
⑤ 自ら熱回収を行なった量	0.000
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0.000
⑩ 全処理委託量	244.224
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫ 再生利用業者への処理委託量	237.840
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 木くず )



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 繊維くず )

不要物等発生量

有償物量

排出量

①

0.090

自ら直接  
再生利用した量

②

0.000

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量

③

0.000

自ら中間処理  
した量

④

0.000

④のうち熱回収  
を行った量

⑤

0.000

自ら中間処理した  
後の残さ量

⑥

0.000

自ら中間処理によ  
り減量した量

⑦

0.000

自ら中間処理した後  
再生利用した量

⑧

0.000

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量

⑨

0.000

直接及び自ら  
中間処理した後の  
処理委託量

⑩

0.090

⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

⑪

0.000

⑩のうち再生利用  
業者への処理委託量

⑫

0.000

⑩のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑬

0.000

⑩のうち熱回収認定  
業者以外の熱回収を  
行う業者への  
処理委託量

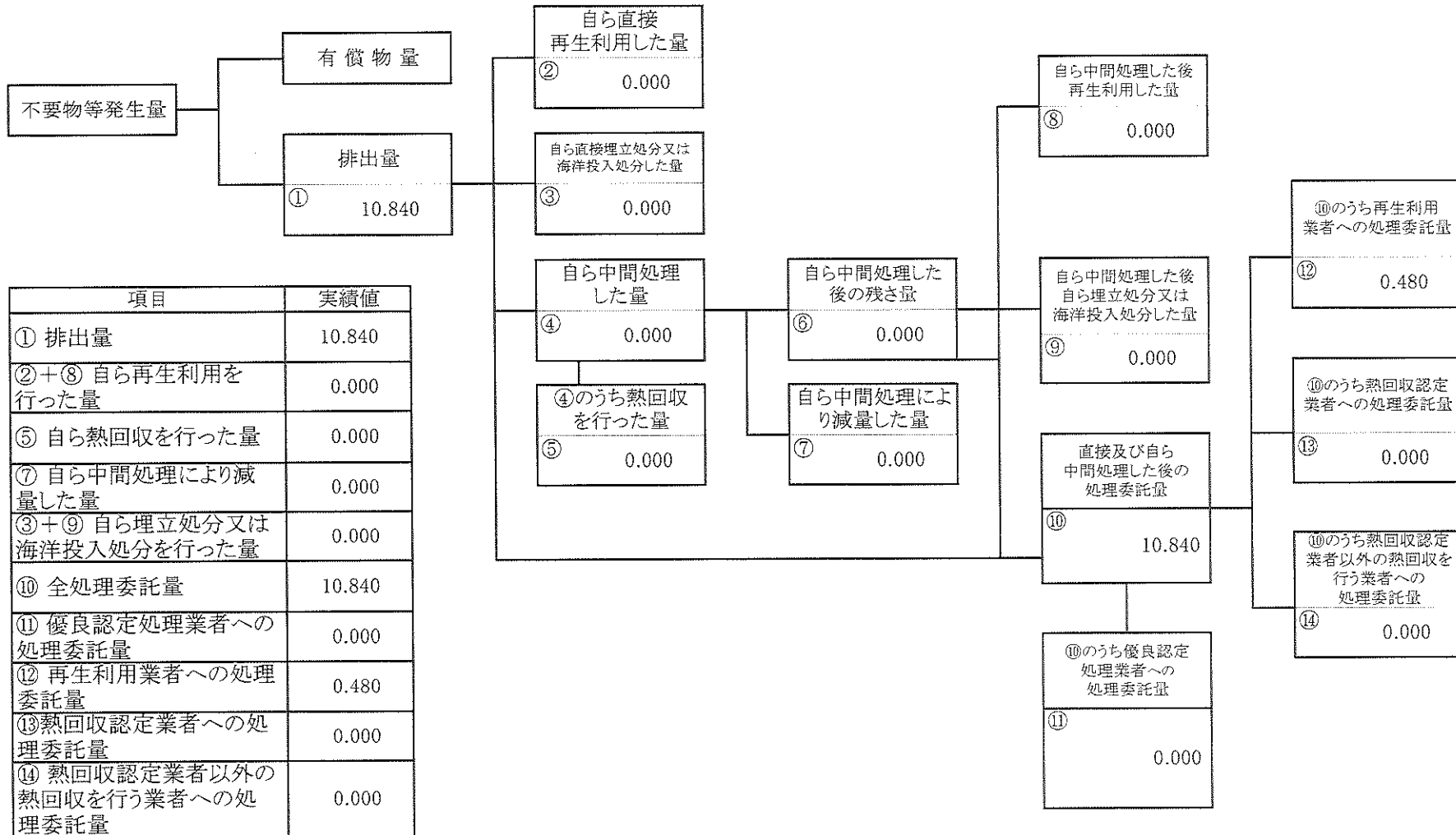
⑭

0.000

項目	実績値
① 排出量	0.090
②+⑧ 自ら再生利用を行 った量	0.000
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.000
⑦ 自ら中間処理により減 量した量	0.000
③+⑨ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.000
⑩ 全処理委託量	0.090
⑪ 優良認定処理業者への 処理委託量	0.000
⑫ 再生利用業者への処理 委託量	0.000
⑬ 熱回収認定業者への処 理委託量	0.000
⑭ 熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0.000

計画の実施状況

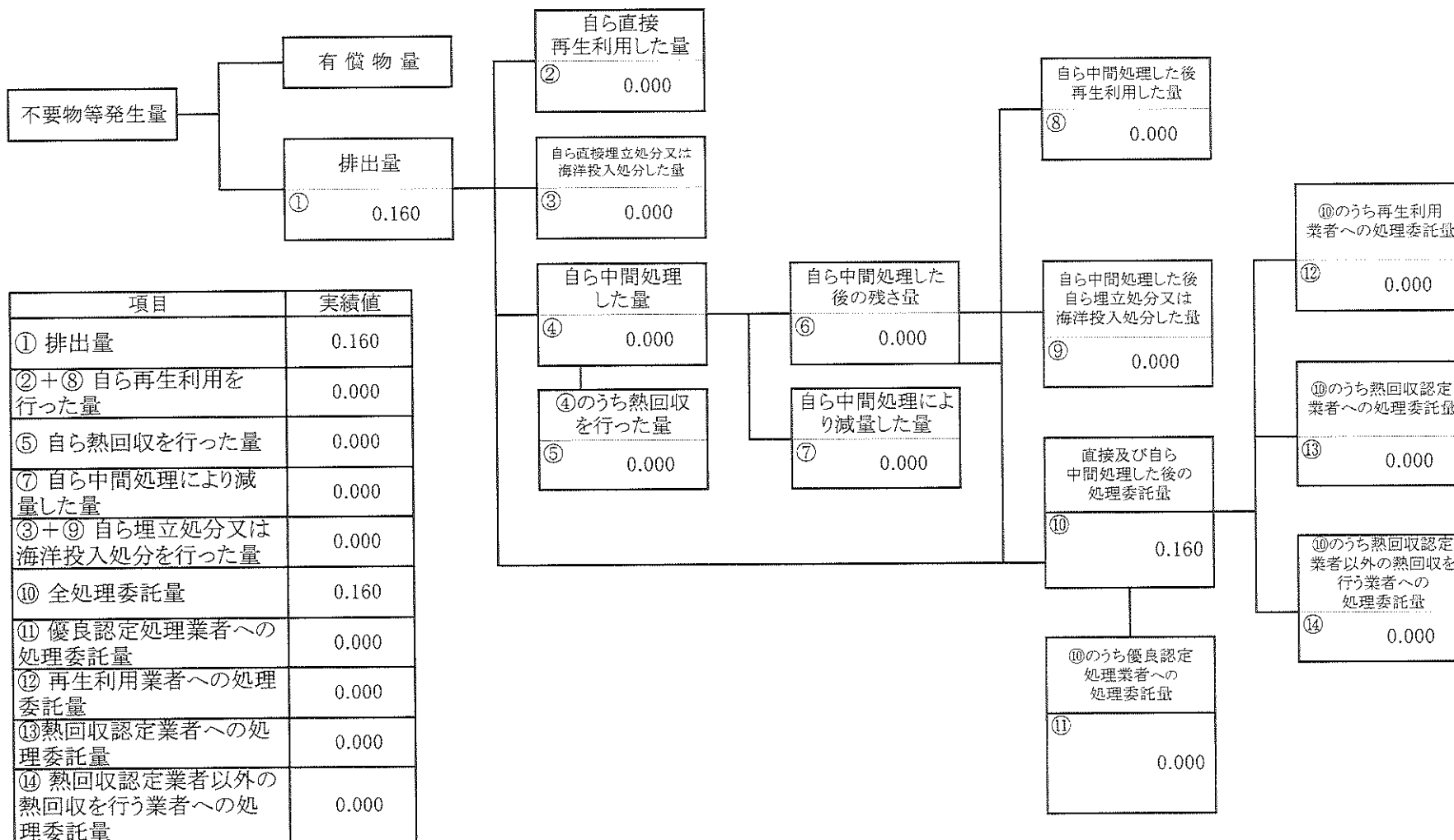
(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類 )





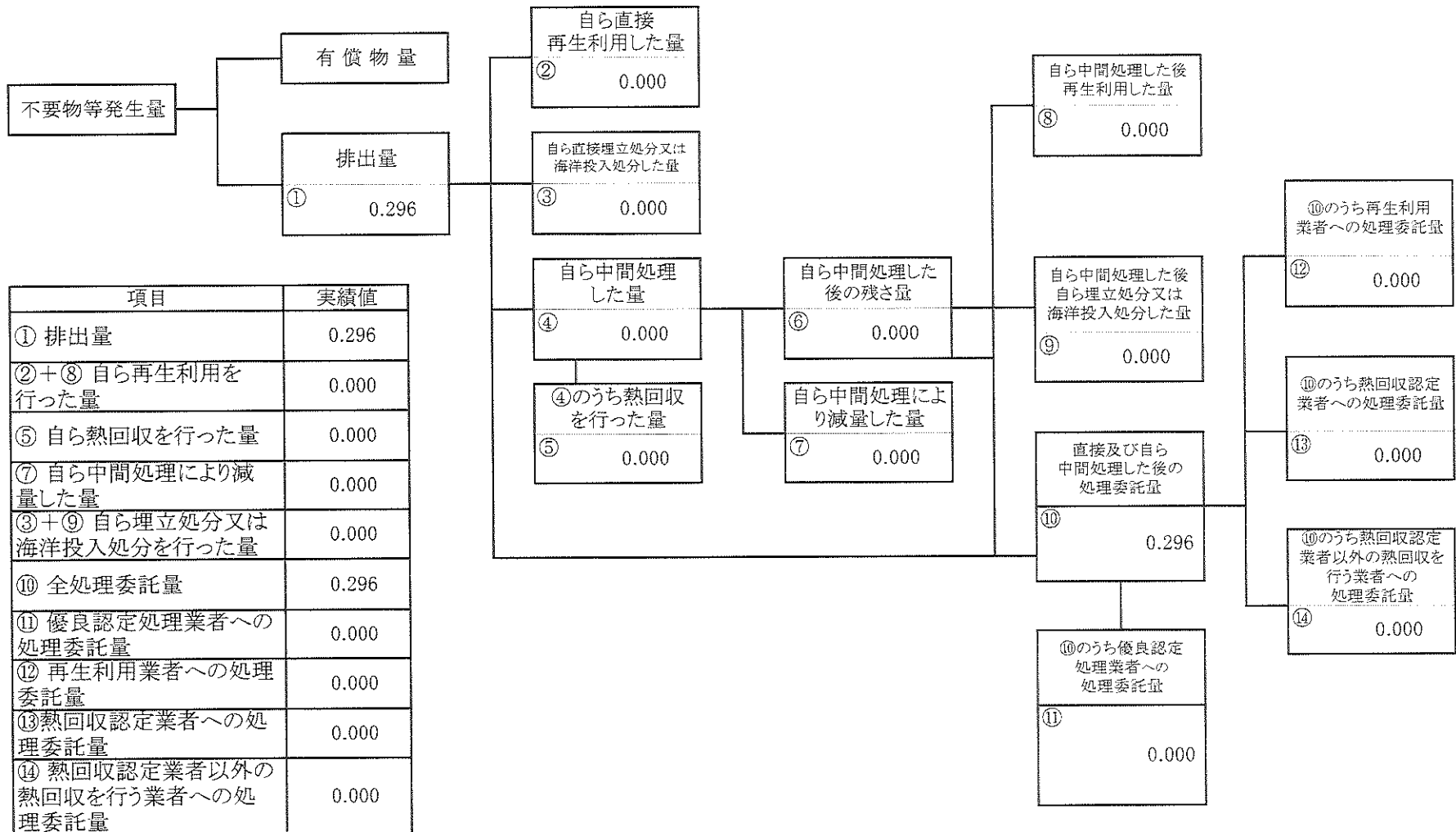
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 塩ビ有機付着物 )



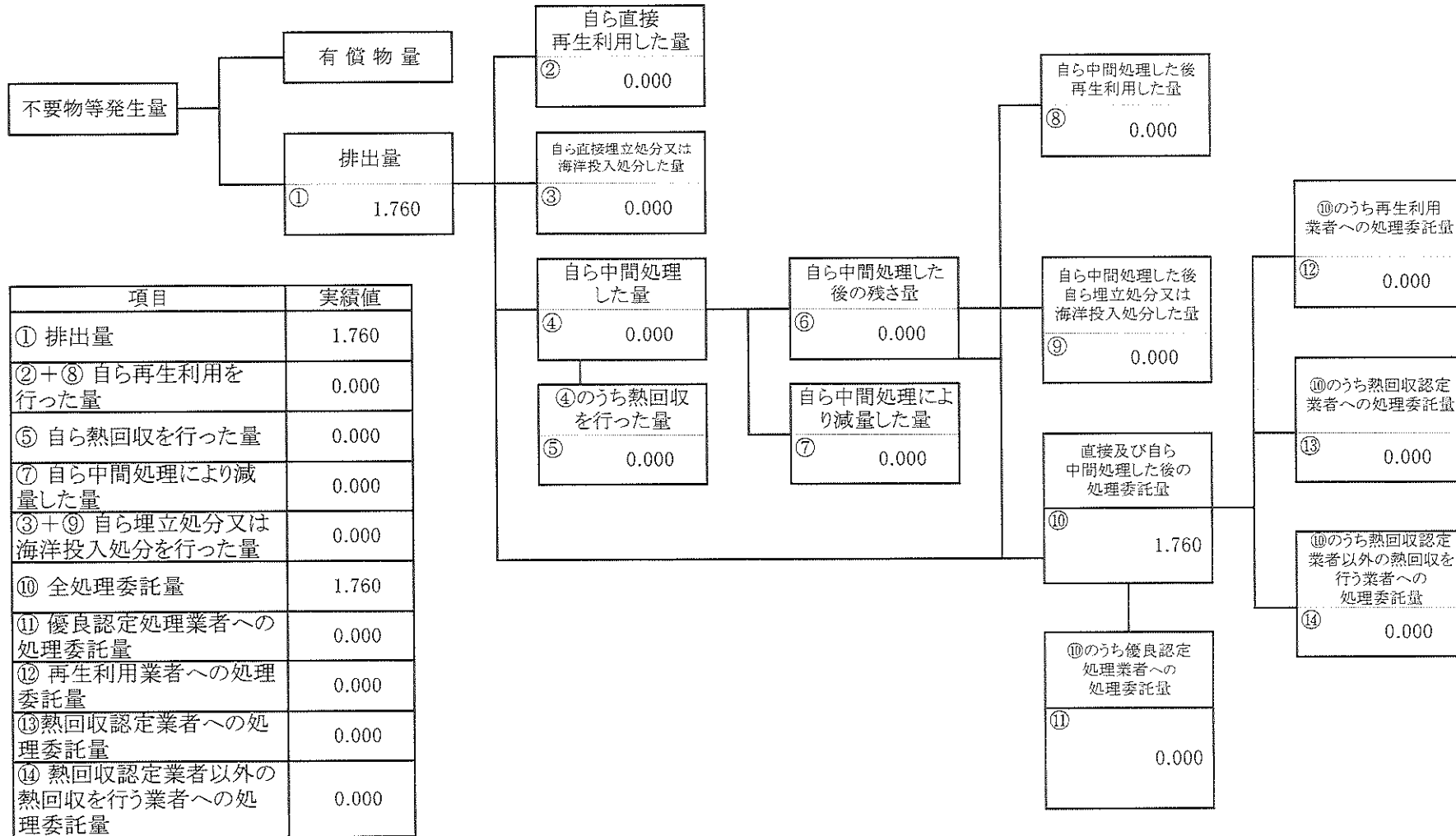
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類(石綿含有産業廃棄物) )



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物))



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。